



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



ゆく10年くる10年

教務主幹 山内江美

今年は、天沼小学校が開校して10年の節目の年です。11月10日には、記念の児童集会が、18日には記念の式典と祝賀会が盛大に催されました。児童集



会では、5・6年生が奏でる笛と鐘・太鼓のリズムに合わせ、掛け声をかけたり音を出したり、踊ったりしながら、皆が一体となって「天沼伝」を楽しみました。また、実行委員の作ったお神輿がその場を練り歩き、より一層お祝いムードを盛り上げました。会の終盤には、色とりどりの風船が秋晴れの空に飛び立ち、華



やかで心に残る素晴らしい記念の会となりました。更に、第二部として計画されていたのは、海野貴彦画伯主催の「ザ☆ライブ・リブ・ライフ」のパフォーマンス。5名のスペシャリストが、次々に舞台上に現れ、子どもたちのみならず大人をも魅了する数々のパフォーマンスを披露してくださいました。まさに、本物に触れる体験の神髄がこの記念児童集会に表っていたと思います。『将来、海野さんと同じような仕事がしたい。』と夢を綴った児童もいたほどです。

18日の式典では、ドローンで撮影した映像を組み込んだスライドショーやタブレットパソコンを利用し

た「天沼小QRコード探検ツアー」など、最新技術を取り入れた企画を多数用意し、お祝いに駆けつけてくださった皆様をもてなしました。

思い起こせば10年前、旧若杉小学校の校舎で天沼小は開校しました。児童は、新1年生のみ3クラス、他は2クラスで、こだま学級を入れて384人。また、この年初めて、職員に一人一台の校務パソコンが導入され、会議やデータの管理などに使われ始めました。10年後、3クラスが基本で、4クラスの学年もできるほど児童数が増えることや、高学年に一人一台のタブレットパソコンが導入され、当たり前のように授業で使うことになるとは、夢にも思いませんでした。まさに、未来は予測不能です。この先の10年は果たしてどのようにしていくのでしょうか。

一つだけ言える確かなことは、科学技術がどんなに進んでも、児童の数がどんなに変化しても、人を人にできる教育は人でしか成し得ないということです。AIが進化すればするほど、人間に近づいていくのであれば、やはり人の根幹を形作る理念や信念は永久不滅なのではないでしょうか。自分を、人を、地域を、社会を大切に思う気持ちをもち、未来への希望に満ちた目で人生を切り拓いていく、そんな天沼の子どもたちが育っていくことを願っています。この先の10年は、今からつながる10年であり、どんな形にも姿を変えていく10年でもあります。20周年を迎える未来の天沼小が、明るく光り輝いていることを願い、今を頑張ります。

** 今月の目標 **

生活

学校をきれいにしましょう
(2学期の反省をしましょう)

保健

寒さに負けず元気に過ごしましょう

給食

みんなで楽しく食べましょう

12月の行事予定

日曜	行事予定
1 金	かけあし146・安全指導・お店番体験3③
2 土	長縄グランプリ
3 日	
4 月	全校朝会・委員会⑧・長縄記録週間始・友禅染体験4
5 火	5時間・保護者会456こ
6 水	読書14こ・保護者会123・フォローアップ・Web写真購入日
7 木	避難訓練
8 金	社会科見学6
9 土	土曜授業3時間・給食なし
10 日	
11 月	全校朝会・クラブ活動⑪
12 火	ハピスタ
13 水	読書56・フォローアップ
14 木	
15 金	5時間・長縄記録会・長縄記録週間終
16 土	
17 日	
18 月	全校朝会・5時間
19 火	4時間・かけあし235
20 水	読書23・たてわり班活動・ウィルチェアラグビー4
21 木	集会・5時間
22 金	終業式・5時間・給食終
23 土	天皇誕生日
24 日	
25 月	冬季休業日始
26 火	
27 水	
28 木	冬季休業 12/23~1/8
29 金	始業式 1月9日(火)
30 土	給食始・5時間授業
31 日	

学校支援本部コーナー

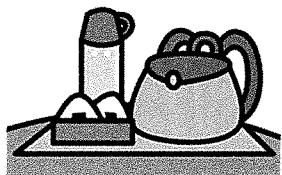
天沼小学校支援本部(あまぬまワンダーラーズ)の活動を紹介します

学校支援本部の活動

学校支援本部の様々な活動の一つに校外学習の引率があります。私達の役割は、子ども達の安全見守りです。この活動を始めた当初は低学年の遠足や生活科見学の引率だけでしたが、その後ほかの学年の引率もお手伝いするようになりました。2年や3年の町歩き、5年のAKP市場調査など、天沼地域の校外学習のお手伝いをしています。

先生以外の大人の目があることにより、子ども達の学習や活動の幅が広がることにつながります。おそろいの「あまぬまTシャツ」を着て行くので、広い公園や駅、電車の中でも見つけやすく、子ども達から見ると「先生以外の安心な大人」という目印になります。

これからも子ども達の安全のため、引率がんばります!!



学校運営協議会コーナー

地域からみた天沼小

学校運営協議会委員 中原 徹

「地域からみた天沼小」を考えるに当たり、まず地域という言葉をどう捉えるかを考えてみる。私は生まれて80年を超えるが、この間にこれほどに社会全体が変動するとは思ってもいなかった。新幹線の登場、大阪万博の開催には驚き、感激したが、時間が経つにつれて、急速に思いは薄れ、遠ざかって行った。その後は、携帯電話の普及に始まるIT産業の発展が続き、自動車世界の成長などは、2番手の有様である。

今まで地域といえば天沼であり、荻窪であったのが、天沼イコール東京であり、さらに日本であり、アジア、太平洋、世界を考える時代となってきたている。

「天沼小」で捉えても同様である。科学技術、生活環境の大幅な進歩、発展、変化に応じて、教育の工夫、対応も必要となってくる。

これから社会をどう生きるか。大いなる希望も楽しみもあるが、努力が必要である。明日に期待しよう。

こだま学級の交流について

天沼小学校には知的障害固定学級「こだま学級」があります。過日の学芸会でも、こだま学級の子ども達の生き生きとしたステージをご覧いただきました。保護者アンケートにも、多くの方からこだま学級の子ども達の表現を評価いただきました。

こだま学級の子ども達は、自身の実態に応じて、個別のプログラムや少人数グループのプログラム、全体での活動と多様な学習形態をとっています。また、「交流学習」と称し、児童によっては、当該学年の学級の「給食や清掃活動」と一緒に参加しています。算数や理科の教科学習のほかに、音楽や外国語などの専科学習に交流している児童もいます。

これらの活動を継続することによって、運動会をはじめ遠足等の校外学習、茶道などの伝統文化の特色ある

活動に自然と参加することができます。それ以上に得られる教育的価値は「多様性の容認」です。こだま学級の子ども達は、様々な刺激の中で自らの力を試すことができます。当該学年の児童にとっては、こだま学級の友だとの関わりを通して「多様性」を知ることができます。インクルーシブが問われるこれからの時代、こだま学級の交流活動は、多様性の理解という観点で大変に意義ある活動だと認識するとともに、保護者の皆様にもご理解いただきたいと思います。



天小の家庭学習の手引き

家庭学習のねらい

- ①学年に応じた家庭学習時間を確保し、基礎学力の定着を図る。
- ②学習習慣を身につけ、日々の努力を継続できる力をつける。
- ③生涯学習に繋がる自ら学ぶ方法を見つけ、知識を増やす。

家庭学習のポイント

- 学習しやすい環境づくりに努めましょう。
 - ・ノーテレビ、ノーゲームタイム
- 親子での学習時間を5分でも10分でも作りましょう。
 - ・宿題の答え合わせ・音読タイム・親子計算5問など
- 持続できるよう、励ましの言葉をかけましょう。
 - ・1行コメント・感想や励ましの言葉・ごほうびシールなど

学校と家庭の
学習サイン

①【学校での記録】

学校の先生から出される宿題や持ち物を連絡帳に、しっかりと記録して帰る。

②【家庭での見届け・声かけ】

連絡帳を確認し、取り組みを見守り、答えあわせや1行コメント等、親子で仕上げる。

③【教師による見届け・評価】

宿題の答え合わせや赤ペンでのコメント等、先生からの評価を継続して行う。また、家庭学習の進捗状況を定期的に確認する。

元気に過ごし、多くのことを学び成長していく子ども達には健康と安全がとても大切です。

安全を守るために1つに、防犯ブザーがあります。杉並区が1人に1つ支給し、いつも身に付けるようにしています。いざというときに防犯ブザーをならし、周りの大人に知らせ、大人から助けてもらうためのものです。

防犯ブザーは大きな音が出るだけに、使い方を間違えないようにしなくてはいけません。このところ、下校するときにふざけて鳴らすことが多



くなっています。子ども達にしてみれば軽い気持ちでやったことでも、周りの人たちにとっては驚きます。心配して音がした方を気にかけてくださった方が、笑顔で話していたり、ふざけていたりする子どもの姿を見たらどうでしょうか。

学校では子ども達にたびたび指導しておりますし、子ども達とも話し合っています。ご家庭でもぜひ防犯ブザーの意味や扱い方、登下校の様子など話し合ってください。

本物にふれる

1
ねん



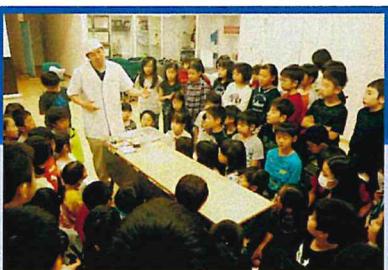
1年生は、夏休みのラジオ体操に向けて7月にラジオ体操を教えていただきました。杉並区ラジオ体操連盟の方々が一つ一つとても丁寧に教えてくださったおかげで、ほとんどの児童には初めての体験でしたが、上手にできるようになりました。とても暑い日でしたが、集中して頑張りました。夏休みのラジオ体操には、たくさんの児童が参加できました。

3
ねん



3年生は社会科の学習で、スーパー・マーケットに見学に行きました。商店やそこで働く人々がどのように工夫をしているのかを探してきました。売り場はもちろんのこと、バックヤードと呼ばれるお店の裏側では、魚や肉を保存する巨大な冷凍庫にも入らせていただきました。機械を使ってパック詰めしたり、瞬時に値付けしたりするなどの工夫を知ることができました。

5
ねん



5年生は、天沼会社経営プロジェクト(AKP)という子どもたちが商品を開発・製作・販売する活動に取り組んでいます。4月に和菓子職人の田貝さんに「会社とは何か?商品を開発し、売るのは何か?」を教えてもらいました。目の前で実際に商品づくりを見せていただいたことで、本物を知ることができました。現在商品開発進行中です。販売をお楽しみに♪

2
ねん



2年生は、運動会や10周年児童集会でパーソンクーを使いました。天沼で使っているパーソンクーは、沖縄で実際に使用されている「本物」です。「感触」「香り」「音色」をはじめ、様々なことを感じられます。

また、運動会で2年生がエイサーを踊るのは今年で3年連続となりました。本物に触ることのできるこのエイサーを踊ることは、子ども達にとって貴重な経験となりました。

4
ねん



「入りやすくて見えにくい」を合言葉に、1学期に安全マップ作りを行いました。班でのフィールドワークを通し、何気なく通っていた場所にも危険が潜んでいたことに気付きました。実際に歩いたことで、今まで以上に注意して行動する意識が高まりました。各学級で作成した地図とともに、学年全体で発表会を行いました。自分たちの住んでいる天沼地域をよりよく知る、よい機会となりました。

6
ねん



6年生は陸上教室、こころの劇場、野点など多くの「本物」に触れる学習を行っています。薬物乱用防止教室では、薬物を正しく使用することの大切さや、誘われた時の断り方など身近に潜んでいる危険について学びました。インターネットやSNSを使う児童も多く、スマートフォンや携帯電話にまつわるトラブル動画を視聴し、何がいけなかったのか、どのように対処すればよかつたのかを考えました。